

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 09-224996

(43)Date of publication of application : 02.09.1997

(51)Int.Cl.

A61H 23/02

A61H 23/02

A61H 23/02

(21)Application number : 08-058204

(71)Applicant : TOWA IRYOKI KK

(22)Date of filing : 22.02.1996

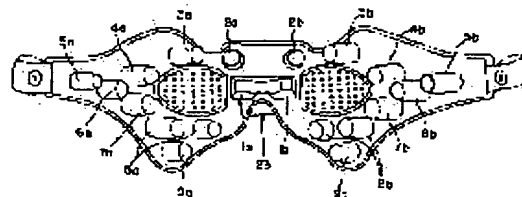
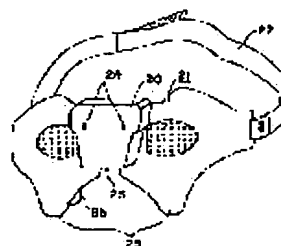
(72)Inventor : NAKASE KAZUO

(54) OPHTHALMIC MASSAGE DEVICE

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To massage all the meridian points around the eye parts by implanting projecting members matched with the meridian points around the eyes and massaging the meridian points by vibrating the projecting members via vibration members.

SOLUTION: A pair of eye pressure contact members 25 being pressingly brought into contact with the both eyes are connected together at respective one ends, a vibration drive part 20 formed by integrating a part generating electric cycle vibration with a battery storage part for it and transparent parts 21 composed of a plurality of fine holes through which the outside can be seen, when this device is put on the eyes, are provided in the center of the front part, and bands 22 which are fitting members having magic tape parts are provided in the both end parts so as to adjust the size of the head of a human. The projecting members 1a-9a, 1b-9b are implanted in the inside faces of the eye pressure contact members 25 except for the transparent parts 21 so as to be matched with the meridian points around the eyes, when this appliance is worn.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

21.07.2000

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-224996

(43) 公開日 平成9年(1997)9月2日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 6 1 H 23/02	3 3 0		A 6 1 H 23/02	3 3 0
	3 7 0			3 7 0
	3 8 6			3 8 6

審査請求 未請求 請求項の数 2 F D (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平8-58204

(22) 出願日 平成8年(1996)2月22日

(71) 出願人 596036201

東和医療器株式会社

東京都足立区谷中1-1-11

(72) 発明者 中瀬 一夫

東京都足立区谷中1-1-11 東和医療器
株式会社内

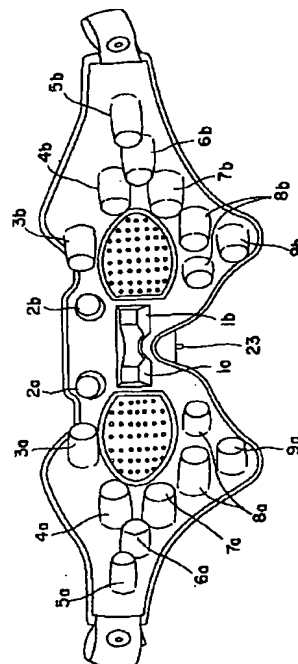
(74) 代理人 弁理士 安形 雄三 (外2名)

(54) 【発明の名称】 眼部マッサージ器

(57) 【要約】

【課題】 眼部周辺にある経穴の全てもしくはその多くをマッサージできるようにし、眼だけでなく肉体に対しても疲労回復や健康増進するための眼部マッサージ器を提供することにある。

【解決手段】 両眼部に押接するための1対の眼押接部材と、前記1対の眼押接部材を各一端で結合すると共に、スイッチのオンで機械的な振動を出力する振動駆動部と、前記1対の眼押接部材の各他端を結合して頭部に装着するための装着部材と、前記眼押接部材の前記両眼部の対応位置に設けられた透視部と、前記眼押接部材の内側面の前記透視部を除いた部分に植設された突起部材とで成り、前記突起部材が眼周辺の経穴に対応して植設され、前記振動部材を介して前記突起部材を振動させることによって前記各経穴をマッサージするようにしたことを特徴とする眼部マッサージ器である。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 両眼部に押接するための 1 対の眼押接部材と、前記 1 対の眼押接部材を各一端で結合すると共に、スイッチのオンで機械的な振動を出力する振動駆動部と、前記 1 対の眼押接部材の各他端を結合して頭部に装着するための装着部材と、前記眼押接部材の前記両眼部の対応位置に設けられた透視部と、前記眼押接部材の内側面の前記透視部を除いた部分に植設された突起部材とで成り、前記突起部材が眼周辺の経穴に対応して植設され、前記振動部材を介して前記突起部材を振動させることによって前記各経穴をマッサージするようにしたことを特徴とする眼部マッサージ器。

【請求項 2】 前記各突起部材の先端を半球形にした請求項 1 に記載の眼部マッサージ器。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、疲労回復や健康増進を目的に新しく考案されたいわゆる健康器具、特に眼部周辺の経穴を刺激するための眼部マッサージ器に関するものである。

【0002】

【従来の技術】一般に鍼灸学で疾病の診断、治療に必要な皮膚上の特定部位を経穴、俗にツボといい、一定の経絡上に分布している。又、経絡は臓腑と連結するので経穴、経絡、臓腑は相互に関連していることが分かっている。そして、このツボを使った治療法の代表的なものには、マッサージ、指圧、灸、鍼があり、これらは原理的には全て皮膚とか筋肉という体の表面に、何らかの刺激を与えるという点で共通している。その中で、眼の周囲にも肝臓と腎臓の経穴があり、マッサージを十分にリズミカルに行うことにより眼ばかりか肉体に対しても健康的に成り得るといわれている。

【0003】例えば、私達はストレス等によって眼が疲れた時など緊張を和らげるために眼を閉じて眼部周辺を適度に圧迫するように一種のマッサージを行い、適度な指圧で神経を刺激し、緊張している眼を正常な働きに戻す手助けをしている。つまり、生理学・解剖学の見解によると、眼部周辺には神経や毛細血管が密集しているため、適度な刺激を与えることにより眼の病気への免疫が増し、正常に戻そうとする力が働き、眼の病気を防ぐことを可能にしているのである。そこで、この原理をうまく応用し、上記マッサージ、指圧、灸、鍼と同様の効果をねらった別の工夫も当然考えられ、例えば私達の身近にある日常用具を治療に応用する方法とか、健康増進を目的に新しく考案された、いわゆる健康器具を活用する方法等がある。

【0004】その中で、電周波の振動を利用した眼部周辺用のマッサージ器が提案されており、図 6 はこのマッサージ器の前面斜視図を示している。両眼部に押接するための 1 対の眼押接部材 25 の前面部の中心に上記電周

波の振動を起こす部分及びそのための電池の格納部が一体となった振動駆動部 10 があり、又、図 7 及び図 8 に示しているように、眼押接部材 25 の後面部には眼部周辺を保護するための一体になったスポンジ部 11 と、このマッサージ器を眼にあてた時に丁度こめかみ部分、瞼の下部分にあたるようにそれぞれ堅めの平面スポンジ部 12a、12b、13a、13b 及び内目尻部分に凹型スポンジ部 15 が取り付けられている。又、上記振動駆動部 10 にはスイッチ 14 が取り付けられており、スイッチ 14 をオンにするとマッサージ器全体が振動し、特に上記堅めの平面スポンジ部 12a、12b、13a、13b で眼部周辺部を重点的にマッサージするようになっている。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】図 5 に示すように、眼部周辺の経穴には斜視及び視力退行等に効く晴明（せいめい）1、頭痛、三叉神経痛及び眼精疲労等に効く攢竹（さんちく）2、顔面及び眼の周りの筋肉の麻痺状態等に効く魚腰（ぎょよう）3、頭痛及び斜視等に効く絲竹空（しちくくう）4、眩暈及び頭痛等に効く太陽（たいよう）5、白内障、視力退行及び夜盲症等に効く健明（けんめい）6、角膜炎及び乱視等に効く瞳子膠（どうしりょう）7、近視及び眼部周辺の血液循環の改善等に効く承泣（しょうきゅう）8、顔面及び眼の疲れ等に効く四白（しはく）があり、又、これらは身体に対して左右対称に存在している。そして、上記従来の眼部周辺用のマッサージ器を用いると上記眼部周辺の経穴のうち、晴明 1、四白 9、太陽 5 のみを振動により刺激するがスポンジで形成されているため、ある程度の振動が吸収されてしまっている。又、上記一体となったスポンジ部 11 は保護用であるため上記平面スポンジ部 12a、12b より軟らかいスポンジを使用しており、上記振動をほとんど吸収する状態となっている。

【0006】本発明は上述した事情により成されたものであり、その目的は、眼部周辺にある上記経穴全てをマッサージできるようにし、眼だけでなく肉体に対しても健康増進するための眼部周辺用マッサージ器を提供することにある。

【0007】

【課題を解決するための手段】本発明は、疲労回復や健康増進を目的に新しく考案されたいわゆる健康器具、特に眼部周辺の経穴を刺激するためのマッサージ器に関し、本発明の上記目的は両眼部に押接するための 1 対の眼押接部材と、前記 1 対の眼押接部材を各一端で結合すると共に、スイッチのオンで機械的な振動を出力する振動駆動部と、前記 1 対の眼押接部材の各他端を結合して頭部に装着するための装着部材と、前記眼押接部材の前記両眼部の対応位置に設けられた透視部と、前記眼押接部材の内側面の前記透視部を除いた部分に植設された突起部材とで成り、前記突起部材が眼周辺の経穴に対応し

て植設され、前記振動部材を介して前記突起部材を振動させることによって前記各経穴をマッサージするようにしたことを特徴とする眼部マッサージ器によって達成される。

【0008】

【発明の実施の形態】図1は、本発明による眼部マッサージ器の前面斜視図を示している。例えば、上記従来のマッサージ器と同様に両眼部に押接するための1対の眼押接部材25を各一端で結合されており、その前面部の中心に上記電周波の振動を起こす部分及びそのための電池の格納部が一体となった振動駆動部20と、本機器を眼にあてたとき外が見えるぐらいの細かい複数の穴から成る透視部21が設けられており、本機器の両端部には人それぞれの頭の大きさに合わせられるように、マジックテープ部を設けた装着部材であるバンド22をもつ。又、図2は本発明による眼部マッサージ器の後面図を示しており、本機器を装着したときに突起部材1a、1bは上記経穴の睛明1に、突起部材2a、2bは攢竹2に、突起部材3a、3bは魚腰3に、突起部材4a、4bは絲竹空4に、突起部材5a、5bは太陽5に、突起部材6a、6bは健明6に、突起部材7a、7bは瞳子膠7に、突起部材8a、8bは承泣8に、突起部材9a、9bは四白9にそれぞれ対応するようにプラスチック製の突起部材が上記眼押接部材25の内側面の上記透視部21を除いた部分に植設されている。尚、図3で示すように上記各突起部材の先端は半球形となっているが、上記睛明1にあたる突起部材1a、1bだけは本機器を鼻で支えることが可能なように一体であり、且つ凹状の形態をしている。

【0009】次に、上記振動駆動部20の具体例を説明する。振動駆動部20は、機械式或いは電磁式のものが使用される。例えば、図4(A)に示すように、回転軸に取付けられた偏心重錘27をモータ26によって回転させ、偏心力によって振動を発生させるようにしたもの、或いは図4(B)に示すように、ソレノイド磁石28の可動片29の往復運動によって振動を発生させるようにしたもの、或いは図4(C)に示すように、ソレノイド磁石30の可動片31の先端部が振動駆動部20の筐体内壁の突起部材32を叩くことにより振動を発生させるようにしたもの等が使用される。又、振動駆動部20の下部にはスイッチ23が、前面部にはランプ24が設けられており、それをオン入力することによりランプ24が点灯すると共に、本機器全体を振動させ上記それぞれの突起部材1a、1b、2a、2b、3a、3b、4a、4b、5a、5b、6a、6b、7a、7b、8a、8b、9a、9bを振動させるようにしている。

【0010】このような構成において、本機器の使用方法及び使用状況について説明する。まず、本機器の眼押接部材25を眼の上にフィットするようにあて、マジックテープ部を備えたバンド22で頭部に装着する。そし

て、横になったりリラックスできる状態で、眼を閉じスイッチ23を入れる。これを1日最低2回、5分間使用する。そうすることにより眼の正常な働きを維持させ、勉強又は長時間テレビを見て起こる一時的な或いは若年層の近視の初期段階において眼の痛みや炎症を軽減すると共に、長時間車を運転する人やコンピュータ等精密分野に従事している人の眼精疲労や視力の回復を行う手助けとなり、視界も明るくはっきりとしてくる。又、30～40日間継続して使用することにより水分や脂肪分によるむくみを軽減又は除去し、不規則な生活や、睡眠不足によりできるクマや眼の周りのたるみを除去する手助けをする。更に、就寝前に最低5分間使用することにより眼の周りのシワを取り除く働きをする。

【0011】そして、本機器使用後は眼の周りを軽くマッサージすることにより、経穴に残っている刺激した跡はすぐに消える。ただし、眼の周りに傷がある人や眼の手術後或いは治療中の人は使用しないようにする。又、コンタクトレンズを着用している人は本機器を使用する時は外すようにする。

【0012】

【発明の効果】本機は臨床経験に基づいたものであり、継続して使用することにより眼のストレスや痛みを和らげ、正常な状態で眼機能を維持する様に働く。又、刺激により肌が活性され化粧のノリも良くなるばかりでなく、肉体までもが健康的になり得るといったあらゆる方面に優れた効果を発揮する。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明による眼部周辺用のマッサージ器を示す斜視図である。

【図2】本発明による眼部周辺用のマッサージ器を示す後面図である。

【図3】本発明による眼部周辺用のマッサージ器を示す平面図である。

【図4】本発明で用いる振動駆動部の具体例を示す図である。

【図5】眼部周辺の経穴の位置を示す図である。

【図6】従来の眼部周辺用のマッサージ器を示す斜視図である。

【図7】従来の眼部周辺用のマッサージ器を示す後面図である。

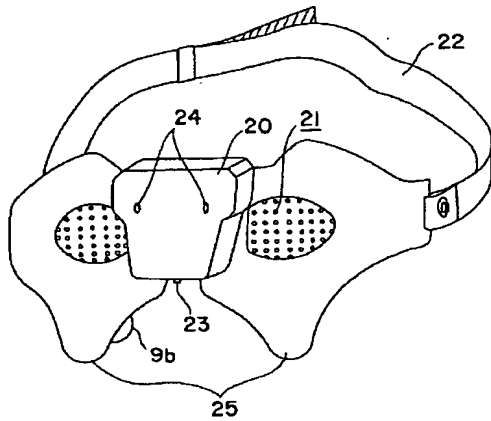
【図8】従来の眼部周辺用のマッサージ器を示す平面図である。

【符号の説明】

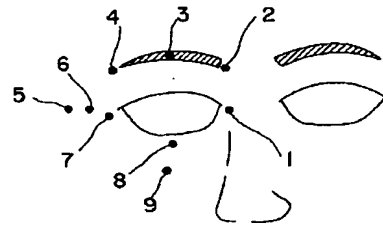
- 1 睛明(せいめい)
- 2 攢竹(さんちく)
- 3 魚腰(ぎょよう)
- 4 絲竹空(しちくくう)
- 5 太陽(たいよう)
- 6 健明(けんめい)
- 7 瞳子膠(どうしりょう)

- | | | | |
|-----------------|------------|------|---------|
| 8 | 承泣（しょうきゅう） | * 22 | バンド |
| 9 | 四白（しはく） | 24 | ランプ |
| 10、20 | 振動駆動部 | 25 | 眼押接部材 |
| 11 | スポンジ部 | 26 | モータ |
| 12a、12b、13a、13b | 平面スポンジ部 | 27 | 偏心重錘 |
| 14、23 | スイッチ | 28 | ソレノイド磁石 |
| 21 | 透視部 | * 29 | 可動片 |

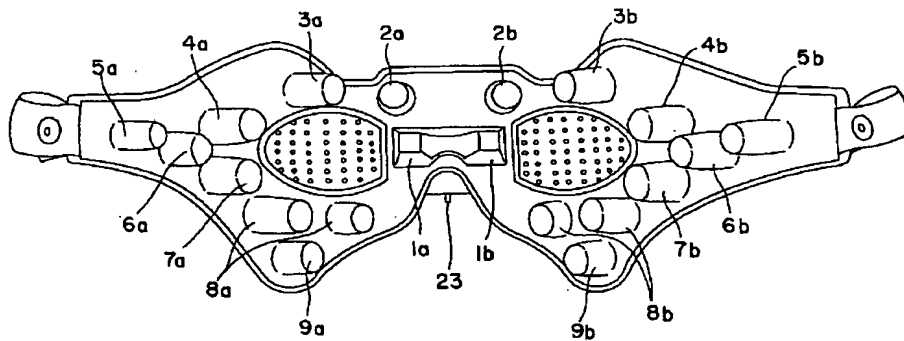
【図1】



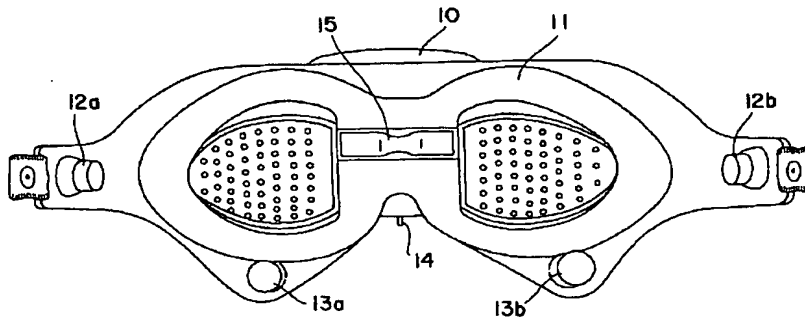
【図5】



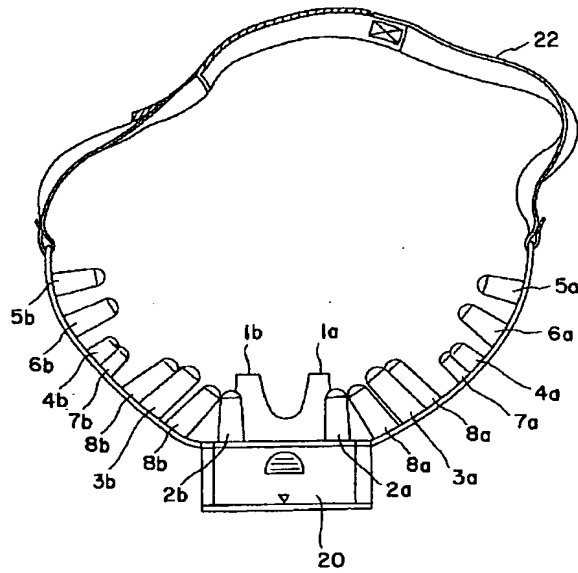
【図2】



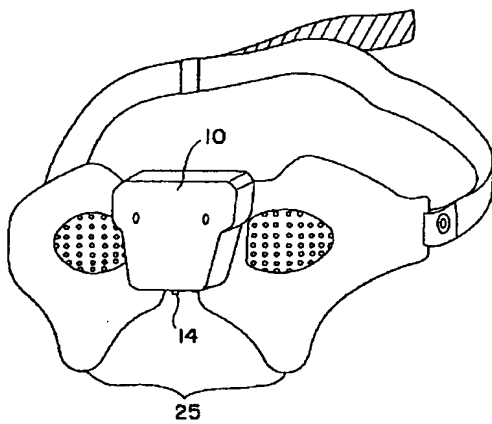
【図7】



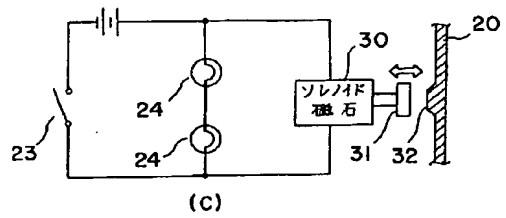
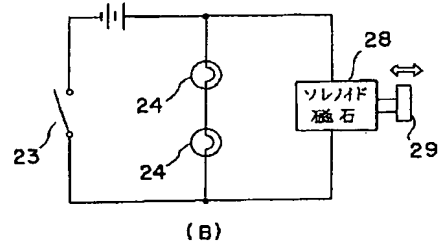
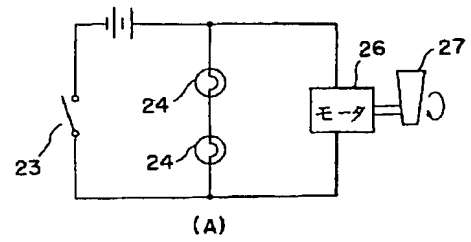
【図3】



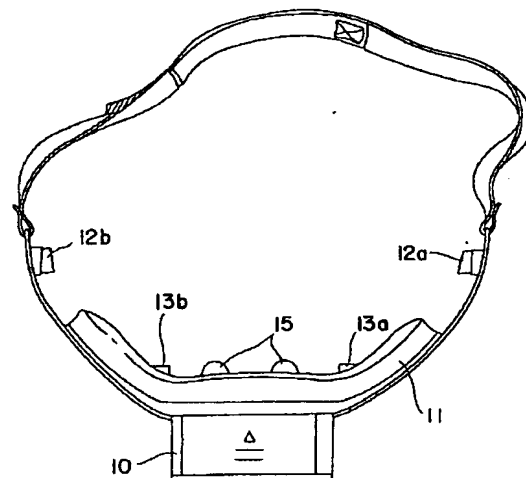
【図6】



【図4】



【図8】



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☐ FADED TEXT OR DRAWING
- ☒ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.